

広報こばやし

人々の知恵と融和で築くまちづくり

2016.SEP

KOBAYASHI 9

No.126



CONTENTS

04 50回目を迎えるこばやし大運動会

未来へ繋ぐバトン

11 小林人

株式会社ひなもり銘木

まるの のりこ

やすひろ

丸野 典子さん、泰宏さん

**東京五輪に向け国際化を推進
ドイツとの交流で地域活性化を目指す**



新たな国際コーディネーターが着任

2020年の東京五輪に向け、参加国との交流で地域活性化させていこうとするホストタウン制度。市は、ドイツのホストタウンに認定されました。これを機に、ドイツとの交流事業を始めとした国際化を推進します。8月1日、国際交流員を務めたドイツ出身のシャネット・フックスさんが、国際化推進コーディネーターに着任。文化・語学講習を行うほか、ドイツはもとより世界に市の情報を発信します。

**東京にいる人とITを使い交流し
小林の魅力を発信する**



東京にしながら小林を体験

市は、NTTデータと連携し、東京のビル内にどろんこプールを設置。インターネットを介し、二原地区のどろんこパレー会場と中継を行いました。二原地区の会場の様子を見た東京の参加者は、「来年の夏はぜひ小林に行ってみよう」と感想を口にしていました。IT技術を活用し、空間を共有することで、都会に向けて、市の魅力を発信しました。

市政 Topics

市が取り組む施策や事業を紹介します。

**コンビニや郵便局でも
市税などの納付ができます**

提携コンビニは納付書裏面を確認

平成27年度から、市税などの納税や使用料などの支払いがコンビニや郵便局でできるようになりました。納付書裏面に記載された全国の提携コンビニで納付できます。手数料はかかりません。ぜひご利用ください。納付期限を過ぎたもの、30万円以上のものではない場合があります。



**南小学校区きずな協働体設立に向け
10人に地域支援員を委嘱**

南小学校区の活性化を目指します

市は、地域みんなでまちづくりを行うきずな協働体設立を推進しています。8月19日、南小校区の10人に地域支援員を委嘱。これから1年間、地域の現状、課題を整理し、地域資源の再発見などに取り組みます。支援員の小久保信雄さん（後川内区長）は「南小校区の活性化に向けてみんなで力を合わせて頑張ります」と話していました。



小林の
わけもん
Vol.5

**YOU CAN MAKE IT !!
KOBAYASHI YOUNG**

小林にゆかりのある「がんばる若者」を紹介！

すきむらんどイベント実行委員会
イベント部部长
の
井野 純平 さん

多くの人が楽しめるイベントで
須木地区を盛り上げたい

須木地区の「滝まつり」や「栗まつり」などを企画・運営するすきむらんどイベント実行委員会イベント部部长を務めるのは井野純平さん、27歳です。同部のメンバーは、20代、30代が主で、井野さんは21歳のときに入部。「責任感が強く、行動力がある」とメンバーから信頼され、昨年からは部長を務めることに。

「メンバーの中でも若い私」が部長を務めることができるのは、先輩方が積極的に協力してくれるから。現在は、9月22日開催の栗まつりに向け準備に取り組んでいます。「若い人が少ない中、住んでいる私たちだからできることがある。若者のアイデアで須木地区をもっと盛り上げたい」と意気込みます。



イベント部おそろいのポロシャツの裏には「山魂」の文字。須木の若者の底力を見せるという思いが込められています。

9/17
~10/23

生駒高原コスモスまつり

100万本のコスモスを昼も夜も楽しめます

日時／9月17日(土)
～10月23日(日)
時間／9時～17時
場所／花の駅 生駒高原



青い空の中、夷守岳をバックに100万本のコスモスが一面を埋め尽くします。◆内容=秋の物産市場、ご当地グルメ屋台、10月8日～10日、15日～16日はコスモスのライトアップ、打ち上げ花火などを行います ●問=花の駅生駒高原 (TEL 27-1919)

9/22

Pickup Event

すきむらんど栗まつり 2016

「栗狩り」「魚のつかみ取り」で須木を満喫

日時／9月22日(木・祝)
9時～15時
場所／すきむらんど
須木地区の栗農園



秋の味覚「須木栗」を満喫できるイベントです。◆内容=栗狩り体験(入園料200円、収穫した栗は別途料金)、魚のつかみ取りやステージイベントなど◆注意事項=須木グラウンドより無料シャトルバスを運行しています。●問=すきむらんど (TEL 48-2480)

参加者に話を聞きました



永久津在住
おおやま のりお
大山 則夫 さん(66)

地域が一丸になれる有意義な行事 選手以外も楽しめる工夫を

高校を卒業した18歳のときから毎年、大運動会に参加しています。当時は、本当に人が多かったことを覚えています。応援合戦もあり、どの校区も盛り上がっていました。稲刈りで忙しい時期ですが、毎年、大運動会に参加するのが楽しみでした。

特に団技は、1位を目指して大会前に練習することもありました。一つのことに向かって地域が一丸となれることは中々ないことで、とても有意義なものだと思います。

現在、参加者は昔ほど多くはないようです。それでも大運動会に参加した人はみんな笑顔になっています。今後は、選手以外の人を楽しめる工夫をみんなで作ってあげればいいですね。

特集 50回目を迎えるこばやし大運動会

未来へ繋ぐバトン

今回で50回目の節目を迎える「こばやし大運動会（以下、大運動会）」。スポーツを通じた市民の交流、次世代の子どもたちの育成などさまざまな役割を担っています。この歴史ある行事をこれからも続けていくために、今月号では大運動会について考えていきます。

初開催時には
2万人もの人が参加

「こばやし大運動会」は昭和33年、「市民体育大会」の名称で初めて開催されました。当時は、現在のよう
にスポーツをする機会や場所が多くはなかったこともあり、会場だった小林高校グラウンドには選手や観客を含め2万人もの人が参加したそうです。

競技は、10キロのロードレース、各年代の徒競走、棒倒しや騎馬戦などの団技を実施。選ばれた選手たちは、校区の誇りを胸に競技に臨んでいました。どの校区も優勝を目指す姿は真剣そのもので、会場には緊迫した空気が漂っていたとい
います。また、応援する人たちも真剣そのもの。応援の練習も行われ、本番では伝統芸能が披露されるなど、会場には太鼓や鐘の音に合わせた大きな歓声が飛び交っていました。その一方、幼稚園児の遊戯なども行われ、和やかな雰囲気

なる場面も。各校区が一丸となる様子は、オリンピッククさながらの盛り上がりを見せていたといえます。
今回、50回目の節目を迎える大運動会。時代とともに、目的や楽しみ方を変えながら、今も続いています。今月号では、参加者や裏で支える人などの話から、歴史ある「こばやし大運動会」について考えていきます。



写真で振り返る大運動会の歴史



平成7年第31回大会。陸上競技場の完成を祝いました



昭和56年第18回大会。騎馬戦を楽しむ参加者たち



昭和55年第17回大会。幻のモスクワ五輪代表の宗茂選手、猛選手を招待



昭和37年の第5回大会。入場行進する参加者たち



昭和38年第6回大会。40代男子の徒競走



昭和33年の第1回大会。優勝した小林校区に優勝旗を授与

参加者に話を聞きました



小林高校女子駅伝部
(須木中出身)
よしそのしおり
吉園 菜さん(17)



野尻町三ヶ野山在住
まつだ
松田まり子さん(59)

模範走を見て駅伝部に憧れた
思いを叶え、成長を実感している

小・中学生のときに、大運動会に参加しました。特に中学のときに出場した800mで、同じ学校の友達と1・2フィニッシュしたことは思い出に残っています。また、模範走を走る小林高校女子駅伝部を見て、「私もあの選手たちのようにかっこよく走りたい」と憧れたこともよく覚えています。その思いを叶え、小林高校女子駅伝部に入部し、今年はインターハイに出場することもできました。大運動会は、私が駅伝部に進むきっかけの一つになったイベントでもあるので感謝の気持ちでいっぱいです。

若者から高齢者まで楽しめて
他の校区の人とも仲良くなれた

大運動会は、若者から高齢者までが交流できる素晴らしいイベントです。昨年、他の校区とチームになり玉入れをしました。普段は関わることのない人と交流できたのはよかったです。とても楽しいイベントですが、参加者を集めるのが大変です。常会で大運動会の担当になったとき、「忙しい」と断られる方も多かったです。しかし、参加した人は楽しみながら交流し、思い出に残る一日を過ごせていたと思います。もっと多くの人にとって「10月の大運動会が楽しみ」と思えるようなイベントになるといいですね。

INFORMATION イベント情報

五輪代表の田中選手と走ろう
第50回こばやし大運動会



「リオ五輪女子マラソン代表田中智美選手と走ろう」や「ウォーキングイベント」など市民誰もが参加できるイベントとなっています。

- 日程=10月9日(日曜) 開会:9時
- 場所=市総合運動公園陸上競技場
- 問=スポーツ振興課 Tel.22-7911

**今年も開催する運動会
ぜひ参加ください**

50回の歴史を持つ、「こばやし大運動会」は、スポーツのまち小林を象徴するイベントの一つです。子どもから大人まで、校区内、校区間の交流を深めることができる数少ないイベントでもあります。

また、子どもたちにとっては、目標にする大会でもあり、陸上競技の競技力向上にも繋がっています。

その裏側には、山之内会長をはじめとする、大運動会を支える人がいて、より多くの人が楽しめるような工夫を凝らしています。

50回を重ねる大運動会の伝統と地域の誇りが込められたバトン。みんなで途絶えさせることなく、未来へ繋いでいきましょう。

**伝統と地域の誇り込めた
これからも繋いでいく**

上にも繋がっています。その中で、吉園さんのように全国で活躍する選手も生まれています。

スポーツのまち小林の象徴といえるイベント

小林市は「スポーツのまち」と言われています。それは、高校スポーツの活躍だけでなく、50回という歴史があるこのイベントがあるからこそだと思います。

昔は、各地区での運動会が盛んでした。しかし現在は、開催しなくなった地区も多いです。だからこそ、スポーツのまちの象徴でもある大運動会は、これからもずっと続けていかなければなりません。

**誰もが楽しめる行事
ぜひ参加してください**

また大運動会は、同じ校区の知らない人や、他の校区の人たちと交流し、絆を

深めることができる有意義なイベントです。校区の対抗戦となっていますが、団技などは、みんなで一緒にできる簡単な競技となっているので、運動が得意でない人でも楽しめます。

現在は、参加者が固定化しているという声も聞いています。今後、さらに多くの人が楽しめるプログラムを考えていきますので、ぜひ気軽に参加してみてください。

**誰でも楽しめる競技を実施
多くの人に参加してほしい**



市スポーツ推進委員協議会
やまのしげのり
山之内 茂文 会長

大運動会の目的と今後

INTERVIEW

こばやし大運動会を運営する、市スポーツ推進委員協議会と市陸上競技協会の会長に運動会の重要性と今後について話を聞きました。

子どもたちの目標になり
競技力向上に繋がっている

小・中学生にとって
いい経験になる大会

大運動会には、校区対抗だけでなく、小・中学生が参加する学校対抗リレーや市町村対抗駅伝競走大会の選手選考レースなどがプログラムにあります。

多くの人の声援の中を走ることができるのは、子どもたちにとってもいい経験になっています。

特に、陸上競技の大会が少ない小学生にとっては、大運動会が目標になり、競技力の向上にも繋がっていると思っています。

全国レベルを見て
次の世代につなげる

大運動会では、小林高校駅伝部の模範走や小林

秀峰高校新体操部の模範演技も行われています。全国レベルの高校生を間近で見ること、子どもたちの刺激になり、次の世代が育つていくことにつながっています。

また、高校生たちが全国で活躍できるのは、彼らの努力はもちろんですが、多くの市民の皆さまのサポートがあるからです。

そういった人たちに彼らのがんばる姿を見てもらうために、模範走や模範演技は続けてほしいですね。



市陸上競技協会
やすだしやういち
安田 昭一 会長

元プロ野球選手 24人が来市 野球教室、親善試合で交流

8月7日、ドリーム・ベースボールを市営野球場で開催しました。元プロ野球選手ら24人が市を訪れ、その姿を一目見ようと市内外から2841人が来場。小・中学生対象の野球教室や、市選抜チームとの親善試合、ホームラン競争などで、参加者は往年のプロ野球選手らと交流しました。



野球教室には小・中学生ら約400人が参加。子どもたちは投球、守備や打撃などに分かれ、プロの指導を受けていました



来年開催される全国大会に出場する大出水さんは「結果には、びっくり。全国大会では1位を目指す」と意気込みを語りました

九州青年農業者会議で 市内の若手農家2人が活躍

8月3日、九州・沖縄地区青年農業者会議に出場した大出水拓磨さんと柚木崎寛弥さんが市長を訪問し、結果を報告しました。柚木崎さんは意見発表の部で優秀賞を受賞。大出水さんは、プロジェクト発表の部門別で最高得点を出し、全国大会への出場権を獲得しました。



すきむらづくり協議会
広報部部長
山中悦郎さん



演劇「塩の道」で語り部の常市を演じました

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、須木地区

すきのPR隊～情報発信に向けて～

「すきむらづくり協議会」の事務所を須木庁舎1階に設置しました。誰でも気軽にきて会議・情報交換ができるようになってきました。

むらづくり部会では、花いっぱい運動で国道沿道に四季折々の花を植栽しています。安心づくり部会では、防犯と有効活用のために空き家調査を行なっています。最後に元気づくり部

会では、9月にソフトボール、11月にミニバレー大会を開催します。これら3部会に加えて『須木弁(方言)カレンダー』と『ホームページ』作成のためのスタッフを募集し、「広報部会」を立ち上げます。須木地区内で埋もれている「人・もの・自然」の宝を掘り起こし、広く内外に発信していきます。

すきむらの楽しいことを発信します。皆さんの参加をお待ちしています。

栗屋さん人権擁護委員を退任 長年の功績に感謝状

7月19日、人権擁護委員の栗屋莊八郎さんが退任し、法務大臣感謝状と県人権擁護委員連合会長感謝状が贈られました。栗屋さんは「皆様のご協力があったからこそ、委員として活動を続けることができた。自分自身にとっても、いい勉強になりました」とあいさつしました。



栗屋さんは、平成13年に委員就任し、都城人権擁護委員協議会の会長を務めるなど人権啓発活動に尽力しました



益城町区長会長から熊本地震の被災状況について体験談も含めながら説明を受け、避難所支援のあり方について学びました

小林秀峰高校の生徒と市民ら 熊本で清掃ボランティア

7月16日、小林秀峰高校インターアクラブの生徒と小林ロータリークラブ、宮崎県防災士ネットワーク西諸支部、NPO法人小林市SVCセンターなど27人が、熊本地震で被災した熊本県益城町の避難所(総合体育館)で清掃のボランティア活動を行いました。

人気のチーズ菓子を生産拡大 誘致企業の立地調印式開催

7月29日、株式会社オンザマークの企業立地調印式が行われました。製造販売するチーズフィナンシェ菓子「とくぼう」の生産拡大が目的。今年2事業所目となる誘致企業に指定され、水間篤大朗代表取締役は「商品を市から都市部に届け、市のPRに貢献したい」とあいさつしました。



誘致企業指定通知書の交付をうける水間篤大朗代表取締役。加工場は8月着工、10月完成予定で新たに5人の雇用を創出します



ポンプ車の部で優勝した第10分団第6部。優勝した3つの部は8月27日に宮崎市で開催される県大会の出場権を獲得しました

3つの部門で市代表が優勝 西諸支部消防操法大会

7月24日、西諸支部消防操法大会が市消防団訓練広場でありました。市大会で優勝した第10分団第6部(ポンプ車の部)、第7分団第5部(小型ポンプの部)、第7分団第7部(小型ポンプ積載車の部)の3つの部が出場。競技の結果、すべての部が優勝しました。



株式会社 ひなもり銘木

まるの のりこ
丸野 典子さん

まるの やすひろ
丸野 泰宏さん

特殊な趣を持つ貴重な木材「銘木」。卓越した目利きでその価値を見極め、過去に宮内庁や文化庁に納めてきた銘木店がある。「株式会社ひなもり銘木」。67年続くこの銘木店を営むのは、丸野親子。創業者の先代が全国を歩き集めた銘木を、二代目の決意を胸に、全国に届けている。

引き継いだ宝ともいえる木材の加工、乾燥工程などを仕切る。「木本来の良さを最大限生かしたい」。些細な自然の変化にも気を許さず、香りと質を保つ。親子二人が今思うのは感謝。「豊かな自然の恩恵と、先代の頃から働く職人、従業員、そして地域の人々に支えられてきました」。自然と人との橋渡し役を担う「銘木店」。銘木という2つとない美に、今日も真摯に向き合っている。

ひなもり銘木は、木材だけでなく、宮崎県伝統的工芸店に指定された囲碁・将棋盤の製造販売を行う銘木店。10年前、先代の泰宏さんから経営を引き継いだ典子さんが切り盛りする。「当初は経営や木の知識も浅く、このままでは店の木材を求める人に届けられなくなると不安でした」。怖くもあったが、とにかく現場に身を置いた。木材の販売に一人出かけ、フォークリフトの免許を取

り、作業にも加わった。また、木材アドバイザーの資格を取り、精力的に木材の知識を学んできた。女性ならではの目線で工夫を凝らした商品開発も行う。「いいものを長く使ってほしい」と、使い捨てにならないがちな箸やまな板を製造。端材を使用し、気軽に買える銘木商品に仕上げている。そんな典子さんを支えるのが、息子の泰宏さん。5年間愛知県で修業し、昨年2月に帰郷した。先代から

引継いだ宝ともいえる木材の加工、乾燥工程などを仕切る。「木本来の良さを最大限生かしたい」。些細な自然の変化にも気を許さず、香りと質を保つ。親子二人が今思うのは感謝。「豊かな自然の恩恵と、先代の頃から働く職人、従業員、そして地域の人々に支えられてきました」。自然と人との橋渡し役を担う「銘木店」。銘木という2つとない美に、今日も真摯に向き合っている。



写真一段目) 希少な幅広の木材を、最高の状態で販売できるよう気を配る。二段目) 朴やイチヨウの木の端材で作るまな板は、ツヤを帯び、見た目も美しい。三段目) 囲碁・将棋盤などの展示室

地域と学校の連携の重要性学ぶ

7月29日、教育フォーラムが文化会館で行われました。大分大学COC+推進機構の梶原敏明さんが「地域とともにある学校づくりとチーム学校」をテーマに講演。教職員ら400人が参加し、地域と学校の連携について理解を深めました。



今年は出来上々。観光農園が開園

8月5日、6日に坂下地区・種子田地区の観光農園が開園しました。開園式には家族連れや園児が訪れ、梨狩りを体験。坂下地区振興会の小原修一会長は「長雨の影響も受けず、甘みの乗った良いものができた」と話していました。



ウォータースポーツで小野湖を活用

8月11日、小野湖の活用促進を目的にSURF CITY宮崎主催のSUPツアーが開催されました。SUPとは、サーフボードに立ちパドルで漕ぐウォータースポーツ。10人の参加者は、水上を移動しながら須木の大自然を楽しみました。



トランポリンの九州大会を開催

8月20日、21日に市民体育館で第10回全九州トランポリン競技選手権大会が開催されました。所属クラブ18団体の小学生から一般まで約150人が出場。個人と県対抗の2部門で技を競い合い、市内から4人が個人部門で入賞しました。



西高生、地元食材を使った料理を提供

7月24日、25日、8月7日、8日に小林西高調理科の生徒が三ツ星レストランを開店しました。地元食材を使った料理をビュッフェ形式で提供。同校3年の比志島裕香さんは「チョウザメも使い、食べやすい工夫を心がけました」と話しました。



国際交流員にリザ・メロンさん着任

8月3日、フランス出身のLisa Melonさんが国際交流員に着任しました。外国語教育の充実や国際交流の進展を図ることが目的。メロンさんは「小林に来るのを楽しみにしていました。気軽に声をかけてください」と話していました。(関連記事25ページ)



市民協働で市内各地の道路を清掃

8月は「道路愛護月間」。毎年、小林市では第1日曜日を「道路愛護デー」とし、清掃などの奉仕作業が行われています。8月7日、市内でも各地区の市民らが早朝から各地区の道路を清掃。約1万1000人が参加し、草刈りやごみ拾いを行いました。



リオ五輪代表の田中智美選手を応援

8月14日、リオ五輪女子マラソンに出場した田中智美選手のパブリックビューイングを市内3カ所で行いました。田中さんの母親は市出身で祖父母は市在住。市とゆかりのある田中選手のため住民ら220人が集まり、声援を送りました。



安心安全情報

南海トラフ巨大地震について



火災・救急発生状況

種別	7月	累計	昨年
建物	1	7	+1
林野	0	4	±0
車両	1	3	+1
その他	0	1	±0
救急	140	908	-28

交通事故発生状況

種別	7月	累計	昨年
人身	26	163	-7
物損	79	532	+20
死者	0	0	±0
負傷者	32	194	-10
全国死者	2091	(昨年同月比 -104)	

南海トラフ（巨大地震）とは？

日本列島の太平洋沖「南海トラフ」沿いの震源域で連動して起きると警戒されるマグニチュード9級の巨大地震をいいます。南海トラフは、静岡県駿河湾から九州東方沖合まで続く4000キロ級の海底の溝（トラフ）で、総延長は770キロにもなります。

◆いつ発生するの？

現時点での科学的知見では地震の発生を予測することは困難です。ただし、過去に100～150年の周期でマグニチュード8.0～8.7規模の東海・東南海・南海地震が繰り返されており、今後30年以内に発生する可能性が高いといわれています。

南海トラフ巨大地震が発生したら？

内閣府発表の「南海トラフ巨大地震の被害想定」では、死者最大32

万人、経済被害220兆円、東日本大震災の10倍を超える被害になるといわれています。また、市の震度は『6強』で被害想定は、死者約10人、負傷者約240人、建物全壊約280棟、半壊2300棟のほか水道、電気などライフラインに重大な影響を及ぼすと予想されます。

◆小林市での取組み

「協働により九州一安心安全なまち小林」を推進するため、自主自発的に活動する「自主防災組織の育成」、「防災士・市民防災リーダー・災害ボランティアコーディネーターの育成」を行います。

また、小林商業高校跡地を八幡原市民総合センターとして整備し、市の災害対応や沿岸部市町村の後方支援拠点にしています。

みんなの

子育て奮闘記

今月の奮闘ママ
 奥 葉子さん (38)
 ひよりちゃん (7)
 太一くん (6)



たくさんの課が連携して、子育てを応援します。



子どもがだらだらテレビを見ているのを辞めさせる方法はありませんか？

毎日テレビをだらだら見ると、睡眠リズムへの影響、視力の悪化、運動不足、家族の会話が減るなど子どもの健やかな成長を考える上で、さまざまな悪影響が考えられます。テレビを見る時間は1日2時間以内が望ましく、食事時のテレビは控え、子ども部屋にはテレビは置かないほうがいいといわれています。家族で一緒に考え、テレビを見るルールを作りましょう。ルールが守れたら上手に褒めましょう。

季節が変わるこの時期、子どもの体調にも影響が出そうなのですが、注意しないといけないことはありますか？

いつの時期も、子どもの健やかな成長を促すのは、規則正しい生活リズムです。生活リズムを整えるポイントは、早起き、朝食、昼間の活動を増やすこと。朝決まった時間に起きて、太陽の光を浴びることからはじめましょう。朝食は、体と脳の温度を上げて、元気とやる気を引き出します。日中はしっかり体を動かし、栄養バランスが偏らない食事にも気を付けましょう。

元気の

知恵袋

9月は自殺予防月間です。
 ～ひとりで悩まないで！～
 誰かに話してみませんか？



健康推進課 保健師 六反田 洋子さん

まだまだ暑いこの季節、体も心も疲れがたまっていますか？無理せず、休養を取りながら、毎日を過ごしたいものです。

さて、9月10日から16日は自殺予防週間です。厚生労働省の人口動態統計によると、宮崎県の自殺者数は昨年の255人（※5月公表の概数）で、ピーク時の平成19年394人から約35人減少しています。しかし、自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は昨年23.2人で、全国でワースト3位と相変わらず高い状況です。

自殺の動機・原因は、「健康問題」が最も多く、「うつ病」をはじめとする精神疾患が全体の55.1%を占めています。もし眠れていない状況が2週間以上続いたら、精神科

あるいはかかりつけ医などに相談してみてください。また、うつ病に関連しない家族間の人間関係、経済問題からの生活苦などが動機になることも少なくないことが実態調査から判明してきました。

さらに、同居人有りが71%、無しが29%と孤立した状況ではない7割が自殺に追い込まれています。まずは家族間、同居人同士でお互いのことに関心を持ち、様子を見守っていくことが大切です。

9月15日は、小林市保健センターで「小林市悩み事一斉相談会」を開催します。今後も相談会の場を設けていく予定です。どんな相談でも構いません。ひとりで悩まないで、誰かに話してみませんか？

小林市保健センター：Tel 23-0323

健康の達人

今月 健康達人 チツ子さん



【極意】
 なんでも挑戦！
 いつまでも学習

私は、看護師をしていました。だから、健康については人一倍気をつけたいと思っています。運動は貯筋運動・社交ダンス・少しでも歩くことを心がけています。食事は肉、生卵など嫌いなものもあり、大豆・魚でたんぱく質は補っています。

健診や勉強会に参加しながら、今は、「健康推進員」や「こころの健康サポーター」をしています。新しい知識を学ぶこと、さまざまな人と出会うこと、人のお役に立つことは、いつまでも若々しくいる秘訣だと考えています。

ヘルスメイトさんの野菜レシピ トマトとなすのマリネ 野菜レシピ



【材料…2人分】
 ・トマト ……60g
 ・ナス ……80g
 ・オリーブオイル ……大さじ1強
 ・ニンニク…小さじ1強
 ★酢、オリーブオイル ……各大さじ1/2
 ★塩 ……小さじ1/3

今月の旬の食材は
 トマトとなす！



- 作り方
- ①ナスは乱切りにし、水にさらしてあくを抜く
 - ②トマトは2割角に切る
 - ③オリーブオイル、みじん切りしたニンニクをフライパンに入れ弱火で香りがするまで炒める
 - ④③に①を入れ、しんなりするまで炒める
 - ⑤火を止めトマトを入れたら★を合わせたものをかけて和える
 - ⑥冷蔵庫で冷やしたらできあがり
- ※彩りにオクラを加えても！
1日に野菜 350g を食べよう！！

行ってみよう！やってみよう！
お出かけガイド
 イベント・講座情報

このコーナーでは、市内で開催されるイベントや講座などを紹介します。

ブドウ狩り・ナシ狩り

観光農園が開園しています



ブドウ狩りとナシ狩りができる観光農園が開園しています。●場所=坂下地区観光農園(北西方)、種子田地区観光農園(東方) ●営業期間=10月下旬ごろまで(時期によって収穫できるものが異なります)。●その他=入場料は無料で、収穫したブドウ、ナシは量り売りになります。全国発送もできます。●問=市観光協会 Tel 22 - 8684

第8回ひがな花まつり

一面に咲く30万本のヒガンバナ



道の駅ゆ〜ぱるのじり横にある大塚原公園を30万本のヒガンバナが埋め尽くします。●日時=9月18日(日)10時~15時(少雨決行) ●場所=道の駅ゆ〜ぱるのじり ●内容=農産品や加工品などの販売、買い物した人を対象にした抽選会、花木の無料配布、ステージイベントなど ●問=道の駅ゆ〜ぱるのじり Tel 44 - 2210

オトナの姿勢学(コバヤシ大学)

専門家に学ぶ正しい姿勢



姿勢教育指導士の山本新さんのアドバイスのもと、健康的な姿勢を学び、身に付ける講座です。●日時=9月16日(金)13時30分~15時 ●場所=コミュニティスペース内(小林市本町16番地) ●定員=5人 ●費用=無料 ●問:コバヤシ大学運営事務局 Tel 090 - 6854 - 2493 (詳しくは、コバヤシ大学ホームページで確認ください)

こばやし陰陽石まつり

伝統の輪太鼓踊り今年も披露



自然が生み出した奇岩「陰陽石」を見て楽しみ、東方中の生徒による伝統芸能「輪太鼓踊り」が披露されるなど内容盛りだくさんのイベントです。●日時=9月22日(木・祝) ●場所=陰陽石公園 ●内容=歌や踊り、楽器演奏などのステージイベント、お楽しみ抽選会など。 ●問=こばやし陰陽石まつり実行委員会 Tel 23 - 1344

■学校教育課 Tel 23-0424 ■社会教育課 Tel 22-7912
 ■スポーツ振興課 Tel 22-7911

教育委員会



EDUCATION

~学校図書館が地域と学校をつなぐ~

文部科学省の委託事業を受け、細野小学校・細野中学校を研究指定校に「地域との協働による新たな学校モデル構築事業」を開始しました。

第1回研究協議会開催



社会に開かれた次世代の学校モデルとして、学校と地域とが一体になって取り組み、学校図書館を中心に、子どもも大人も学びあい育ち合う教育体制を構築することを目的として研究協議会を設置しました。



7月26日、細野小学校の図書室で、中屋敷教育長より研究協議会委員11人に委嘱状が交付されました。協議会会長に細野小学校の安藤重則校長、副会長に細野まちづくり協議会の内村文彦さんが就任されました。



委嘱状交付後、宮崎大学の高橋としゆき利行准教授をファシリテーターに、意見交換会を行いました。平成30年3月31日まで、地域全体の読書力向上に繋がるように話し合いを続けます。



SOCIAL

~遠く離れた仲間との出会い~「姉妹都市交流事業」



7月23日(土曜)から25日(月曜)までの3日間、姉妹都市の能登町から20人の中学生が市を訪れました。毎年交互に中学生が互いのまちを訪問して交流を深めています。市から8人の中学生がおもてなしする側として参加し、23日は須木地区のかるかやに宿泊。パーベキューや花火で交流を深めました。



翌24日には小野湖でのカヤック体験を楽しんだ後、野尻地区へ移動し、市の中学生と一緒に地元農家さん7軒のお宅へ分かれて農家民泊をしました。中学生同士はもちろんのこと、温かく迎えてくださった農家さんとも早々に打ち解け、「小林の家族ができたみたい」と喜ばしい声も上がっていました。



25日のお別れの会では抱き合っただけを惜しみ、次年度の再会を約束する姿が見られました。姉妹都市交流事業はこれからも続いていきますが、今年の出会いが今後、将来にわたって引き継がれ、姉妹都市交流の更なる盛り上がりにつながることを期待されます。

毎 日暑い日が続き、熱中症になる方が多いようです。部屋の中で座っているだけでも体の水分が減っていくそうなので、こまめに適温の水分を取りましょう。

(Y・Yさん＝真方)

季節が秋へと変わるこの時期もまだまだ暑いですね。急に冷たいものを飲むのも体にはよくないそうなので、こまめに適温の水分を取りましょう。

元 プロ野球選手の人々の勇姿を拜見できて楽しい1日でした。ありがとうございました。ありがとうございました。

(F・Mさん＝南西方)

普段は見ることでできない夢のスター選手が勢ぞろいした瞬間でしたね。子どもから大人まで、たくさんの方に

年 齢に関係なく頑張る人は頑張るんだなあと、ホッケーのグラウンドマスターズ日本代表の本村博史さんに拍手です。70歳に手の届く自分も五体使える物をフル回転させ、日々動き回っています。

(M・Nさん＝水流迫)

本村さんのように、人生を楽しめるものを見つけて、毎日を過ごしたいですね。

小 林に嫁いで5年になります。毎日の生活で嬉しいのが、水のおいしい事です。宮崎の実家では、浄水器を使っていたので、小林の水は本当に名水です。

(Xこちゃんさん＝細野)

水道水を直接飲める環境は小林市の素敵な魅力の一つです。これからもこの環境を大切にしていきたいですね。

SUKUSUKU すくすく 皆さまの投稿をお待ちしています！



こはる かなな
小原 環渚ちゃん
平成 28年5月22日生

よく声を出して笑ってくれる環渚ちゃん。いっぱい寝て、いっぱい飲んで大きくなってね♡
父：拓也さん 母：唯さん



かみこしき あすか
上 甌 飛鳥 ちゃん
平成 23年10月29日生
かみこしき ゆうひ
上 甌 雄飛 くん
平成 25年11月11日生

仲良く、元気いっぱい育ってね。
父：大和さん 母：ゆかさん



きよどめ たける
清留 武尊くん
平成 27年8月14日生

毎日笑顔をありがとう♡
母：由香里さん

POST CARD

お手数ですが52円切手をお貼り下さい

フリガナ
ご氏名

(イニシャルまたはペンネームも記入ください)

ご住所

電話 ()-()-()

興味を持ったコーナー3つ

①

②

③

クイズの答

広報クイズ

問題：今月の特集は、50回目を迎えるこばやし大運動会。「未来へ繋ぐ〇〇〇」
◆ヒント：4ページから探してください。

クイズの答・興味を持ったコーナー3つ・住所・氏名・電話番号を明記して応募してください。今月は、抽選で10人に「図書カード」をプレゼント。

【締切】9月16日(金曜)〔当日消印有効〕
応募は一人1枚まで。広報こばやし8月号のクイズの答えは「ホッケー」でした。抽選の結果、正解者の10人に景品を贈りました。

※プレゼントを提供くださる方も募集しています。

【宛先】〒886-8501(住所不要) 小林市地方創生課広報
FAX：23-6650 E-mail：info@city.kobayashi.lg.jp

人のうごき(小林市の人口)

人口	45,818人	(+3, -621)
男	21,205人	(-12, -458)
女	24,613人	(+15, -163)
世帯数	19,595世帯	(+26, -265)

平成28年8月1日現在(現住人口) (前月比、前年同月比)
現住人口：国勢調査人口(実際に居住している人口)を元に、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。

こすもにき diary

画：友安よーいち

第29話「虫のオーケストラ」



※虫が鳴くのは、演奏ではなく、求愛行動です。(諸説あり)

お便りまっます

- ①すくすく(3歳未満) お子さんの写真に名前、ふりがな、性別、誕生日、住所、保護者名を添えて、送付ください。
※すぐには掲載できない場合があります。
 - ②よもやまトーク 広報紙の感想や最近思うことなど。
 - ③心の花びら 短歌や俳句など。
 - ④疑問質問Q&A わからないことやちょっとした疑問、気付いたことなど。
※いずれも氏名・住所・連絡先を記入ください。左頁の広報クイズにもレッツトライ!!
- 【送付先】
・地方創生課
〒886-8501 小林市細野300番地
TEL 23-1148
メール info@city.kobayashi.lg.jp

心の花びら

紛争の絶えぬ地上へ蟬生まる 小林合歓の会 清水幸子
老夫婦途切れし会話蝉しぐれ 小林合歓の会 内田トシ子
雨匂う明るくなりし蝉しぐれ 小林合歓の会 後野美美子
照りつける陽射しと襲うセミしぐれ 小林合歓の会 阿南夫沙子
予科練の七つボタンの墓詣で／むかごめし先ず仏前にてんこ盛り 上久保年治
五時目覚め窓開ひろげおはようと霧島山に独り居の我 武ナメ子
雨音を隔てて聞こゆ風鈴の音に猛暑の一日を忘る 南園サヨ
母の日に娘プレゼントのバッグ持ち出かける所先づは病院 宮窪房子
知り人は一人も居らぬ高校野球応援するは九州・沖縄 坂上正子

編集後記

今 年もてなんと小林プロジェクトを開催します。毎年、送られる写真は、今まで知らなかった小林の風景や、市民の皆さまの輝く笑顔など素晴らしいものばかり。今年も、多くの皆さまの投稿をお待ちしております。(森本潤葵)

西 高三ツ星レストラン取材しました。生徒たちのアイデアで味付け、調理された料理が提供され、料理に合う薬味なども詳しく教えてくれました。写真撮影も心よく受けてくれる生徒たちの笑顔と料理への情熱に心を打たれました。(深草由樹)

募集

小林市総合文化祭 作品の出品者

小林市総合文化祭の出品者を募集します。今年も2会場で開催します。小林・須木地区在住の人は小林会場へ、野尻地区在住の人は野尻会場へ申し込みください。

小林会場

◆作品展

◆開催日

11月3日(木曜)～6日(日曜)

◆会場

市民体育館、中央公民館

◆募集内容

絵画、書道、写真、彫刻、陶芸、木工、手芸、竹細工、パッチワーク、生け花、盆栽、短歌、俳句など

※詳細は問合わせください

◆作品搬入

11月2日(水曜) 13時～19時

※生け花は21時まで

◆作品搬出

11月6日(日曜) 16時～18時

11月7日(月曜) 9時～12時

◆申込締切

10月17日(月曜)

※短歌・俳句は9月30日(金)

◆申込用紙配布場所
・社会教育課(中央公民館)
・教育部須木分室(小林市須木総合ふるさとセンター)
◆申・問
・社会教育課
Tel. 22・7912
・教育部須木分室
Tel. 48・2266

野尻会場

◆開催日

11月5日(土曜)～6日(日曜)

◆会場

野尻町農村環境改善センター

◆募集内容

絵画、彫刻、写真、書道、手芸、陶芸、盆栽、生け花など

※詳細は問合わせください

◆作品搬入

11月4日(金曜) 13時～18時

◆作品搬出

11月6日(日曜) 15時～17時

11月7日(月曜) 9時～12時

◆申込締切

10月17日(月曜)

◆申込用紙配布場所

教育部野尻分室

◆申・問

・教育部野尻分室
Tel. 44・1100

大淀川左岸 土地改良区職員

大淀川左岸土地改良区事務局に勤務し、一般事務と国営かんがい排水事業などで造成された農業水利施設の維持管理に従事する職員を募集します。

◆日程

◆1次試験

11月13日(日曜) 9時～

◆2次試験

12月ごろ

◆場所

大淀川左岸土地改良区

◆受験資格

平成元年4月2日～平成11

年4月1日までに生まれた人
採用後に、宮崎市、小林市、綾町に居住し、勤務地まで1時間以内に通勤できる人
※学歴は問いません

◆定員 1人

◆申込方法

野尻庁舎地域整備課にある申込用紙に必要事項を記入し、大淀川左岸土地改良区事務局に提出ください。なお、申込用紙は、郵送でも請求できます。詳しくは問い合わせください。

◆申・問

・大淀川左岸土地改良区事務局
Tel. 0985・82・5422

講座・催し

防災学習講座

防災に関する基本的事項や自助と共助についてなど防災に関する学習会を開催します。参加費無料でどなたでもどの回でも参加できます。この機会に防災について学んでみませんか?

◆日程

9月29日(木曜)、10月27日(木曜)、11月24日(木曜)、12月22日(木曜)、平成29年1月26日(木曜)、2月22日(水曜)

◆時間 19時～20時30分

◆場所

八幡原市民総合センター会議室

◆対象

防災に関心のある人

◆費用 無料

◆申込方法

電話で申し込みください。

◆申・問

・宮崎県防災士ネットワーク
西諸支部
Tel. 090・3199・3888

催します。贈答品、食器、工芸品、野菜などたくさん品物を用意しています。なお、バザーの益金は、ボランティアなどの活動資金に活用されます。

◆日時

10月15日(土曜) 10時開会

◆場所

市民体育館

◆その他

市社会福祉協議会ではバザー物品の募集も行います。ご家庭に贈答品など(古着は除く)ありましたら、連絡ください。

◆問

市社会福祉協議会
Tel. 23・3466

第32回福祉バザー

ボランティア団体や福祉団体などによる福祉バザーを開催

～一般書籍～

小林市立図書館

今月のおすすめ図書



『陸王』
著者：池井戸 潤
発行：集英社

～児童書～



『みてるよ! 父ちゃん!!』
作者：くすのき しげのり
画家：小泉 るみ子
発行：文溪堂

～一般書籍～



『アウシュヴィッツの図書係』
著者：アントニオ・G・イトゥルベ
訳者：小原 京子
発行：集英社



運動会の晴れ姿を見せたいと思うキミに、ぜひ!

市立図書館
ヤマシタ リョウスケ
山下 亮介さん

時間外急病診療電話案内

Tel. 23-8212

平日夜間 19時から22時まで
日曜・祝日 9時から12時まで
(日曜・祝日は、原則小児科)

※医療機関を案内するもので、病気に関する相談を受けることはできません。

小児救急医療電話相談

Tel. # 8000

365日 19時から翌8時まで
ダイヤル回線からは

Tel. 0985-35-8855

※明らかに緊急を要する急病の場合は、119番をご利用ください。

Information おしらせ

感想や叱咤激励、疑問・質問などお寄せください。

Grid area for postcard messages.

保健・福祉

家族介護者の集い (認知症家族の会)

小林市地域包括支援センターでは、毎月第2土曜日に「家族介護者の集い」を開催しています。10月は次の内容で開催します。介護に関する質問や悩みのある人、今までこの集いに来たことのない家族も一緒にお話してみませんか。また、介護を卒業した人の話で悩みが解決したり、心身のストレス緩和と活力につ

- ◆日時 10月8日(土曜) 10時～12時
- ◆場所 市社会福祉協議会 1階会議室
- ◆内容 相談・懇談会
- ◆講師 内村病院認知症サポート医 戸高一成先生
- ◆参加費 無料
- ◆申し込みは不要
- ◆問 小林市地域包括支援センター Tel.25・0707

オレンジカフェ

毎月第4水曜に、認知症サポーターリーダー(小林地区)主催の「オレンジカフェ」を開催しています。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることや心身のストレス緩和と活力につながることを目的です。お茶を飲みながら会話や交流ができ、気楽に集える場です。

- ◆対象者 認知症の人やその家族、一般市民など
- ◆参加費 100円
- ◆申し込みは不要です
- ◆問 小林市地域包括支援センター Tel.25・0707

介護職員初任者研修

市社会福祉協議会では、地域社会に貢献できる介護職員を養成するため初任者研修を開催します。介護の専門的な知識と技術を習得したい人はぜひご参加ください。

- ◆研修期間(全24回) 10月3日(月曜)
- ◆問 小林市社会福祉協議会 Tel.23・3466

短期講座パソコン教室(有料)受講生

小林高等職業訓練校でパソコン基礎を学びませんか。ワードを丁寧に指導しますので、初心者や基礎から見直したい人など、ぜひ申し込みください。

- ◆日程(全6回) 10月4日(火曜)～20日(木曜) ※いずれも期間中の火曜、木曜のみ開講
- ◆講座時間 9時30分～11時30分まで
- ◆内容 ワード基礎講座
- ◆講習料 1万2000円 ※テキスト代込み
- ◆申込締切 9月28日(水曜)
- ◆定員 10人
- ◆その他 ※5人未満の場合は開講できませんのであらかじめご了承ください
- ◆問 小林高等職業訓練校 Tel.23・6800

青少年ホーム講座 筆ペン講座

今年の年賀状は筆文字で書いてみませんか。

- ◆日程(毎週木曜全10回) 10月6日(木曜)～12月15日(木曜)
- ◆時間 19時30分～21時
- ◆場所 中央公民館
- ◆負担金 1500円
- ◆定員 10人
- ◆問 小林中央公民館 Tel.22・3482

◆その他 対象者以外の人も受け付けますが、申込多数の場合は対象者を優先とし、後は抽選を行います。結果と詳細は後日通知します。

文化の足跡

『松元の上の田の神』 ～あなたの里の田の神さあ Vol.4～

ユーマアと躍動感あふれる田の神
堤の松元の上地区にある田の神は、この地区の田んぼに水を供給する水路沿いで民家の横に鎮座しています。荘厳な神官型とは違い、頭にはシキと呼ばれるわら製の編み物を被り、右手にはシャモジ、左手には四角の杵を持っている農民型です。さらには両足を出し、少し斜に構えた格好していることでいまにも動き出しそうな躍動感あふれる特徴のある田の神さあです。じつと田んぼを見守るのが性に合わず、すぐにも手伝いにいきたくて思われているかもしれせんね。
あなたの里の田の神さあは、どんなお顔をしていますか？



猫は正しく飼いましょう

最近、猫に関する苦情が多く寄せられています。猫を飼うには、周りに迷惑や危害を及ぼさない飼主の心くばりと、ルールを守ることが大切です。

- ①室内飼育をしましょう。環境を整えれば、猫は屋内だけで心身ともに健康に過ごすことができます。室内外の出入りを自由に行っているとフン・尿などの悪臭、鳴き声、花壇を荒らすなど、ご近所へ迷惑をかけることがあります。
- ②むやみにノラ猫に餌を与えると、その場所が繁殖の場となりさらに猫が増えます。猫が増えると縄張り争いや交通事故、病気などにかかるリスクも増え、結果的に不幸な猫が増えてしまう原因にもなります。餌をあげなければ、猫はその場所から離れます。特に置き餌は衛生的にも良くないので絶対にやめましょう。
- ③猫の殺傷はもちろん、子猫を捨てる行為、必要な食事や餌を与えないといった行為は動物愛護法第44条により禁止され、罰金刑が課せられます。飼主には大きな責任があることを自覚しましょう。

◆問 健康推進課 Tel.23・0323
小林保健所 衛生環境課 Tel.23・3118

やっぱり元気がよか！

このコーナーでは、介護予防につながる、簡単な運動を紹介します！

◆問=長寿介護課 Tel.23・1140

尿失禁予防のための筋力体操

今回は尿失禁予防に効果のある2つの筋力体操を紹介します。

膝合わせ=両膝を合わせ、膝頭に力を入れるようにして内ももの筋肉をしめます。
片膝上げ・しめ(右左)=足を肩幅に開き、片足を上げ内側にしめるように寄せ、3秒くらい止めてから下ろす。

※腹筋や太ももの内側、腰の筋肉などを意識しましょう。

【文/写真】長寿介護課 田中美幸さん

<膝合わせ> <片膝上げ・しめ>



体力測定をしませんか？

国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、改善するための方法の資料として活用します。

- ◆小林会場 9月12日(月曜)・9月26日(月曜) 18時～20時
- ◆場所 市民体育館
- ◆野尻会場 9月13日(火曜) 18時～20時
- ◆場所 野尻町農村環境改善センター
- ◆対象 成年：20歳～64歳の男女
高齢者：65歳以上の男女
- ◆その他 運動できる服装(ジャージ・体育館シューズ・タオルなど)
- ◆問・スポーツ振興課 Tel.22-7911

サークル紹介

小林ランニングクラブ

南九州駅伝を目標に日々練習をしています。楽しく健康になるために一緒に走りませんか。20代、30代の若い人たちも大歓迎です！

◆日時 毎週水曜 18時～19時

◆場所 市営陸上競技場

●問
おおやま かずひこ
・監督 大山 和彦さん
Tel 080 - 2726 - 3092



みんなで一緒に楽しく走りましょう！

小林ランニングクラブの皆さん

JR吉都線 利用促進協議会 活動団体補助金
JR吉都線の利用促進につながる事業を行う活動団体に対し、補助金を交付する制度を設けています。
◆対象団体 JR吉都線の利用促進と、沿線地域の魅力を広く情報発信し、併せて沿線自治体の交流人口の拡大による地域産業の振興や活性化のために活動する団体
◆対象事業 ・沿線地域の連携、魅力の情

報発信に関する事業
・沿線地域の活性化に関する事業
・沿線及び駅周辺の景観向上に関する事業
・その他JR吉都線利用促進協議会が認める事業
◆補助額 最大20万円
※複数団体からの申請があった場合は、調整を行います
◆募集期間 随時
※予算がなくなり次第終了とします
◆申込方法 所定の補助金交付申請書に必要事項を記入のうえ、次の資料を添えて、事業実施前に本庁企画政策課まで持参くだ



さい。
・事業計画書
・収支予算書
◆申請書の配布先 企画政策課
※補助金交付申請書については、市ホームページでも取得できます。
●問
・企画政策課
Tel 23・0456

障害者ふれあい合同面接会

就職を希望している障がいのある人を対象に、小林・都城地区の約25社の企業が参加する合同面接会が開催されます。
◆日程 10月7日(金曜) 13時30分～16時 受付…13時
◆場所 ホテル中山荘(都城市松元町3・20)
◆対象 就職を希望している障がいのある人

案内

持っているもの
◆障がい者手帳などの障がいを確認できるもの
・写真を貼った履歴書(必要な枚数。コピー可)
●問
・小林職業安定所
Tel 23・2171
宮崎県は、郷土の美しい自然や街並みを守るため、「宮崎県屋外広告物条例」を定めています。

「屋外広告物」とは、はり紙や店舗の看板、道路沿いの広告板など、建物の外に表示・設置されている広告物のことをいいます。
店舗の看板など屋外広告物を出すときは、原則として許可が必要です。
美しい風景を守るために、屋外広告物の表示や設置ができない場所(地域)がありますのでご注意ください。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
●問

地域おこし協力隊通信

これから、いろいろなことを教えてください。よろしくお願いします。



まつせ けんじ 松瀬 健治 隊員



小林市役所本庁舎2階、私の席の場所は変わりませんが、協力隊着任時に配属された「市民協働課」はなくなり、現在は「地方創生課」で活動をしています。言葉の意味って何処にあるんでしょうかね? 「市民協働」の意味を自分なりに考えて臨んだ3年間、地域の方々にとっても良くしていただいたおかげで、多くの経験が積み、人生の糧をいただきました。ただ、私にそのお返しができるかと言えば、まだまだマダです。協力隊としての任期は終わりますが、自分自身で感じる「やり残したこと」に、今後も取り組んで行きたいと考えています。

1等前後賞合わせ5億円 オータムジャンボ宝くじ

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。お求めの人は、宮崎県内の宝くじ売り場へお越しください。
◆主な賞金・本数
・1等：3億円(14本)
・前後賞：1億円(28本)
※発売総額420億。14ユニットの場合
◆価格 1枚300円
◆発売期間 9月26日(月曜)～10月14日(金曜)

若者就職支援 出張相談(無料)

15歳から39歳の就職を目指す若者(学生を除く)を対象に、就職に向けての悩みや不安に関する個別相談を行います。一人一人にあった継続的なプログラム支援で就労に結び付けます。
◆日時 毎月第4月曜 13時～17時
●問
・みやざき県南若者サポートステーション
Tel 0986・36・6510



◆場所 ハローワーク小林
◆費用 無料
◆定員 4人
※電話による事前の予約が必要
●問
・みやざき県南若者サポートステーション
Tel 0986・36・6510



道路清掃では、ガードレールやカーブミラーなど、道路の付帯施設も清掃しています。

みんなが使う道路をきれいにしよう！

『力を合わせて』

『建設課』編
市役所 × 竹の子会・橋の本語ろう会・永久津サンライズ

～みんなが使う道路を、いつもきれいに～

「竹の子会」、「橋の本語ろう会」、「永久津サンライズ」は、市と協力し、地域の道路沿線の草払いや市道にはみ出した枝木類などの伐採のほか、側溝の清掃などを自発的に行っています。また、「竹の子会」は、陰陽石親水公園の清掃も行い、市民や市外の観光客が、いつ来ても「きれいなまち」だと思ってもらえるように積極的に取り組んでいます。

高齢化や過疎化が進むなか、道路清掃だけでなく自分たちの地域を自分たちで盛り上げよう

と、祭りなどの地域行事にも積極的に取り組んでいます。

地域の「きずな」を深めていく上で、まずは自分たちが普段から使っている道路を、きれいにするということはとても大切なことです。

このような地道な活動が、誰もが住みやすい地域をつくり、更なる地域活性化につながります。

建設課の主な業務

市道の維持補修、道路改良、都市整備に関することなど

『Hello! Hola! Dia duit! ~from Lorena~』

The bug culture

One of the most interesting things about Japan is the bug culture. There are bugs everywhere and they're huge! Sometimes I think, "Why are people not scared of them? Why are children keeping them as pets?" I feel silly sometimes because bugs make me uncomfortable, but in my defense, things like stag beetles, and huge spiders, I've only ever seen on TV.



日本の興味深いことの1つは、虫の文化です。そこかしこに虫がいて、その虫が巨大なのです！私は思うのですが、「どうして虫を怖がらないのだろう？子供たちはどうして虫をペットとして飼うのだろう？」私は虫が苦手なので虫を怖がりたりしないことや、飼うことを不思議に思います。言い訳になってしまいますが、カブトムシや大きな蜘蛛はテレビでしか見たことがなかったのです。

『メロンばなし』

Bonjour !

フランスのツール市という街から来た新しい国際交流員のメロン・リザです。



シャネットさんの後任として教育委員会社会教育課で働くことになりました。メロンと呼んでもリザと呼んでもいいです！

2011年に名古屋で1年間留学しました。また日本に来るのを楽しみにしていました！8月に小林市に着いたばかりですが、たくさんの優しく、素敵な人に出会って、住みやすいまちに違いないと思いました。

趣味は旅行や読書などです。そして、人と会話するのが好きなので、いつでも日本語や英語やフランス語でも話しかけてください！

「てなんど小林プロジェクト」では、小林市の魅力を日本全国、世界に発信すること、また市独自の風景、文化や伝統などを後世に残していくことを目的として、PR動画や西諸弁ポスターなど、さまざまな事業を行っています。今回、市民の皆さんが気軽に参加できる「撮っみっけ！小林 第3回写真コンテスト」を開催しますので、ぜひ参加ください。

第3回 てなんど小林プロジェクト

撮っみっけ！小林

写真コンテスト

賞金最大3万円！

応募期間

8.29(月) ~ 10.31(月)

●問：地方創生課 (☎ 23-1148)



テーマ(2部門) / 1つのテーマに2点(合計4点)まで応募できます。

テーマ① 小林の人

輝いている人、大切な人の笑顔や、写真を見た人が「その楽しさ、小林市の素晴らしさを共有できるような」作品を募集します。

テーマ② 小林の風景

美しい風景や小林らしい場面などが表現され、写真を見た人が「小林に行ってみたくなる、見てみたくなる」作品を募集します。

賞金 / それぞれのテーマごとに賞を設けます

最優秀賞(1本) …賞金3万円

優秀賞(1本) …賞金1万5000円

入選(3本) …賞金5000円

特別賞(企業賞) …協賛企業からの景品

応募要件 / 詳しくは問い合わせください

●応募方法 = 「てなんど小林プロジェクト」のサイト内に公開する(8月29日予定)写真コンテストの応募フォームから応募ください。●応募資格 = 誰でも応募できます。●条件 = デジタルデータのみ受け付けます。撮影機材は問いませんが、印刷に適したサイズで応募ください。撮影時期はおおむね3年以内に撮影したもの。●注意事項 = ウェブサイトに掲載している諸条件などをよく読んでから応募ください。

協賛企業を募集します！

●協賛企業が得られる特典 = ①当コンテストに関する印刷物やウェブサイト、社名または商標を表示します。②企業賞の概要や結果などを、ウェブサイトなどで紹介します。③賞となった作品を印刷してお渡しします。●提供いただく景品 = 協賛企業に関連する景品とし、金額は特に定めません(目安: 500円程度から)。景品は、協賛企業から受賞者へ直接、もしくは郵送でお渡しください。直接の場合は、(郵送の場合、それにかかる経費は企業でご負担ください) ●協賛申込書 = 申込書は、企画政策課にあり、ウェブサイトからもダウンロードできます。●申込期限 = 10月31日(月曜)まで

●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

種類	月日	場所	時間	備考
休日納付・納税相談窓口	9月18日(日)	ほけん課・税務課窓口	8:30～17:15	※第3日曜日
年金移動相談 ※要予約	9月15日(木)	本庁4階大会議室	10:00～15:00	予約:都城年金事務所

都城年金事務所 Tel 0986-23-2571

その他の行事・イベント

「コスモスまつり」

9月17日(土)
～10月23日(日)
9:00～17:00

[場] 花の駅生駒高原

「ひがな祭り」

9月18日(日)
10:00～15:00

[場] 道の駅ゆ～ぱるのじり

「二原遺跡展と

こばやしの重要遺跡展」

9月18日(日)～19日(月)
9:30～16:00

[場] 二原遺跡公園

文化財展示室(八幡原市民
総合センター内)

税・保険料の納付期限

※納期限は9月30日(金)です。

固定資産税・都市計画税(3期)

後期高齢者医療保険料(3期)

農地移動申請

場所 農業委員会事務局

時間 8:30～17:15

受付開始日 9月9日(金)

受付締切日 9月15日(木)

これは何ごみ? 答え

焼酎や酒の紙パックは紙類
です。注ぎ口部分はそのま
までかまいません。ただし、
ふたは外してプラスチック
製容器包装で出してください。

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

月日	曜	種類	会場	時間
9/13	火	人権・行政・なやみごと	本庁4階会議室	10:00～15:00
9/20	火	人権・なやみごと	本庁4階会議室	
9/27	火	人権・なやみごと	本庁4階会議室	
10/4	火	人権・行政・なやみごと	須木総合ふるさとセンター	10:00～15:00
10/6	木	人権・行政・なやみごと	野尻町保健福祉センター	

●わいわいクラブ・ハッスル教室

ハッスル教室は、介護予防・認知症予防などを目的とした軽体操を行います。
わいわいクラブは、介護予防講座などを実施しながらいきいきサロンの立ち上
げに向けた支援を行います。

種類	月日	会場	時間	問い合わせ先
ハッスル教室	9月21日(水)	小林中央公民館	14:00～	第1在宅介護支援セ ンター(ひなもり園) Tel 22-8866
わいわいクラブ	9月23日(金)	堤下構造改善センター	14:00～	
わいわいクラブ	9月14日(水)	北西一区石塚公民館	10:00～	第2在宅介護支援セ ンター(望峰の里) Tel 27-2552
ハッスル教室	9月15日(木)	柿川内自治公民館	13:30～	野尻在宅介護支援セ ンター(社会福祉協 議会野尻支所) Tel 44-1206
わいわいクラブ	9月21日(水)	水流平公民館	10:00～	
ハッスル教室	9月14日(水)	麓公民館	10:00～	須木在宅介護支援セ ンター(美穂の里) Tel 48-3696

こころの電話相談

ひとりで悩まないで! 誰かに話してみませんか?

毎週月曜日 20:00～22:00

電話番号は 27-1850

●障がい者相談員による定期相談会 福祉課 Tel 23-0111

月日	会場	時間
9月25日(日)	八幡原市民総合センター	13:00～16:00

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122

小林市清掃工場 Tel 24-0959

須木住民生活課 Tel 48-3132

野尻住民生活課 Tel 44-1100

区	9月	10月
水流迫、東方1・2	1	4
真方1・2・3	2	3
南西2・3、通り町	5	5
南西1の西、南西4 本町、新生町	6	6
南西1の東、 種子田	7	7
北西1・3、緑町	8	11
北西2、坂元	9	12
西町1・2・3 南島田	12	13
仲町、永田町、 後川内	13	20
細野2・3、 南真方	14	21
細野1、南真方西	15	25
南真方東、 上町、上町西	27	26
上町中、上町東、 上町北	28	27
西堤、南堤	29	28
北堤	30	31
野尻地区 (第3日曜)	18	16
須木地区 (第4日曜)	25	23

今月の これは何ごみ?



「焼酎・酒の紙パック」
答えは左のページ。

すこやかカレンダー 健康推進課 Tel 23-0323

●育児・親子健康日程

種類	月日	会場	時間
妊婦健康相談 母子手帳発行	毎週月曜 (祝日除く)	小林市保健センター	9:00～11:30
赤ちゃん健診	10月6日(木)		受付
	10月7日(金)		12:45～13:15
キッズフロア	10月5日(水)		9:30～11:00
もぐもぐクッキング	10月5日(水)	受付(要予約)	13:45～14:00

●ここに運動教室(13:30～15:30)

問: 社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206、社会福祉協議会須木支所 Tel 48-2073

場所	9月	10月
須木総合ふるさとセンター	12日(月)、26日(月)	3日(月)
野尻町保健福祉センター	13日(火)、27日(火)	4日(火)

●健康相談

月日	曜	種類	会場	時間
9/12	月	まちかど 健康相談室	かじかの湯	13:00～15:00
9/14	水		道の駅 ゆ～ぱるのじり	10:00～12:00
9/15	木		神の郷温泉	13:30～15:30
10/6	木		小林市役所	13:30～15:30

●けんしん相談会

健診を受診した人が対象の健康相談。健診結果を持っている人は当日持参ください。

月日	会場	申し込み先
9月28日(水)	小林市保健センター	完全予約制 23-0323

●わかちあいの会(自死遺族のつどい) 小林保健所 Tel 23-3118

月日	会場	時間
9月29日(木)	小林保健所	13:00～15:00

日曜祝日在宅当番医(原則として9時から17時)

月日	曜	在宅医	電話番号
9	11	日	沖内科小児科医院 22-4043
	18	日	宮崎医院 22-2841
	19	月	針貝眼科医院 22-2322
	19	月	前田内科医院 22-5802
	22	木	山田内科・循環器科 25-0088 産科婦人科生駒クリニック 22-1103
10	25	日	すわクリニック 22-6489
	25	日	桑原記念病院 22-4138
	2	日	内村病院 23-2575
		日	沖内科小児科医院 22-4043
	9	日	園田病院 22-2221
		日	高崎皮膚科医院 22-8521

※変更になる場合もありますので、各医療機関にご確認ください。




高齢者総合支援施設
YURICHAN HOME
幸ちゃんの家

「介護の休日」
ショートステイ 1泊2日から
ご利用できます **つくいませんか？**

TEL 0984-25-7711

A N D O 県知事許可10564

- 家庭用エアコン販売工事・業務用エアコン販売工事
- 業務用厨房機器販売工事・ステン加工・大型冷蔵庫
上記機器の修理・メンテナンス 全メーカー対応

小林市真方5542-11
有限会社 安藤冷凍設備 23-4002
代表取締役 高佐良弘

社会福祉法人 **日章野菊の里**
日章福祉会

障害者支援センター
小林市堤2173-1 ☎0984-23-3670

そうだんサポートセンター
小林市堤2173-1 ☎0984-23-2112

障害者地域支援センター
小林市堤2173-1 ☎0984-21-0432

ケアホーム
小林市細野2778-1 ☎0984-22-1151

さまざまな支援で生活をサポートします




ランチ営業中!
かるかや御膳

山本の山荘 風の庄
茅葺きのお食事処とお宿 **かるかや**

アパレル Tel:0984-48-2480

産業廃棄物から建物解体工事の事まで何でもご相談ください。

リサイクル 限りある資源の有効活用
(株)ホシヤマ

金属・自動車・農機具・その他金属全般
アルミ・ステンレス・真鍮・砲金・その他非鉄金属全般
新聞・ダンボール・雑誌・古紙類

資源物
買い取り
ます。

小林市細野2633番地1
☎0984-23-1030

MYAUCHI (有)宮内葬儀社

0120-24-2349

小林市細野437番地4 (市役所前)
TEL 0984-22-2349

西町斎場・上町斎場・ラウム会館

**広告は、
あなたのお店の
第一印象です。**

チラシ、伝票、はがき、封筒、シール、ラベル、
名刺、パンフレット、ポスター、チケット、
掛紙、包装紙、カレンダー、カルテ、冊子、
賞状、ステッカー、タオル、のぼり、垂れ幕、
写真撮影、ポイントカード、メニュー表、
Tシャツデザイン …etc

デジタルCTP設備により
カラー印刷がより鮮明になります。

株式会社 こさの印刷

小林市梅の天神下(山麓線)
TEL.(0984)27-0050(代)FAX.(0984)27-0051
E-mail:kozonoinsatsu27-0050@guitar.ocn.ne.jp